



〈教育目標〉 あたたかい心で人とかわり、何事にも全力で取り組む生徒の育成

## 親子で考える進路と美しい未来～進路集会講話より～

8日(水)の学期末PTA懇談会に先立って、3年生は保護者の方も案内し、進路集会を実施しました。学年として、人生の岐路に立つ3年生とその保護者に、進路選択の時期を迎えるに当たって考え方の参考になればという思いで計画したものです。

講師には、水戸女子高等学校・理事長兼校長の鈴木康之先生をお招きしました。鈴木先生は、情熱的で説得力のあるお話が魅力で、さまざまな場で講演・講話を依頼されています。特に、中高生やその保護者向けのお話には定評があります。今回のお話を他学年の生徒や保護者の方に是非伝えたいと思い、要旨を載せます。

### I 「なぜ？」を大事にしよう ～伸び続ける存在になるためには、なぜ？という疑問を常にもつこと

#### ○なぜ勉強をしなければならないのか？

- ・勉強する意味は、最終的には、「周囲から愛され、役に立つ存在になる＝幸せになる」ためである。(学校の勉強に限らず)分かった！できた！と思った時に感じる喜びが幸せにつながる。
- ・勉強して教養を身に付けるということは、さまざまなことを学んで「人の心が分かる力」を身に付けることである。教養を身に付けるほど自分の周りの人を大事にでき、自分の幸せにつながる。
- ・つまり、(学校の勉強だけではなく)知りたいという知識欲をもつこと自体が大事なのである。
- ・校則などのきまりは、守ることで自己コントロール力が付く。勉強のスタートはここにある。自分をコントロールできない人は自分勝手になりがちで学べない。三重苦だったヘレン・ケラーもサリバン先生とのやりとりで、「触ったもの」と「水という言葉」が一つになった時目覚め、そこから知識欲がわき、人生が変わった。自分の心と周りの世界のバランスのなかで人は学んでいく。

#### ○なぜ進学しなければならないのか？ ～親の義務は来年3月で終わる！ 家の人に願い出て進学するのだ

- ・義務教育の義務は、親の義務。今は98%が進学する時代。進学に何が必要か。勉強？その前にお家の方をお願いするのが筋。こういう目的があり、この学校へ進みたいので行かせてくださいと頼む。そして、自らの責任で行く。何のために高校に行くのかという目的をしっかりとつ。
- ・目的を確認したら、事前に高校の特色を十分調べることも必要。当然、点数だけで高校を決めない。
- ・高校進学に限らず、乗り越えようとするのが幸せなのである。愚痴や不満を並べて努力しない姿は不幸である。
- ・生きる姿勢を学ぶ機会が学校生活にはある。部活動で決めた目標を達成する体験、学校行事で友と涙する体験、できなかったことができたという体験……。何が貴重かを学ぶ機会もたくさんある。

### II 学力を伸ばすためのポイント

#### ○心と体の仕組みを理解しよう～脳だけは自分で出力を高めたり抑えたりできる器官。それは心のもちよう次第

- ・頭がいい、悪いを世間ではテストの点数で判断することがある。しかし、いい、悪いの差はなく、学力が高い子は、自己コントロール力を発揮して、きちんと勉強時間を確保するのである。ただし、記憶力には時間がかかる、かからないの個人差がある。すぐ覚えられない人は時間をかければよい。
- ・脳が好むのはプラス思考。(やるぞ！○ どうせできない×)感動体験もプラスに働く。(部活動や学校行事などで目標が達成できたという体験。感動した体験。)プラス思考をする時、脳は元気に働く。
- ・学力を付けたたり維持したりするには、復習が大切。今日のことは明日には半分忘れる。1週間では多くを忘れる。それを防ぐのが復習である。

\*裏面に続きます。

### Ⅲ 豊かな時代から美しい時代へ

～考えから発する言葉が行動を変え、習慣を変え、性格を変え、最終的に運命を変えることにつながる

#### ○豊かな時代の光と影～すべてが勉強のチャンスと捉えたい～

- ・豊かで不自由のない時代になったが、言われてからやる学校生活は不幸につながる。脳が好むプラス思考や感動体験の効用に結び付かないからである。
- ・プラス思考の考えを大事にしよう。考えれば、それは言葉になる。言葉にまとめればそれは自分の行動につながる。そして、その行動のおかげで新しい習慣が生まれる。そして、習慣が変われば性格が変わる。性格が変われば、自分の運命が変わる。

#### 終わりに

○結婚して自分の子供が生まれた。最初に見た時、「この子には幸せになってほしい」と願った。人は、幸せになるために生まれている。人生のなかでの「分かった!」「できた!」で感じる喜びが幸せにつながることを忘れないでほしい。



ありがとうございました

感謝